ななの73号　2022年4月1日

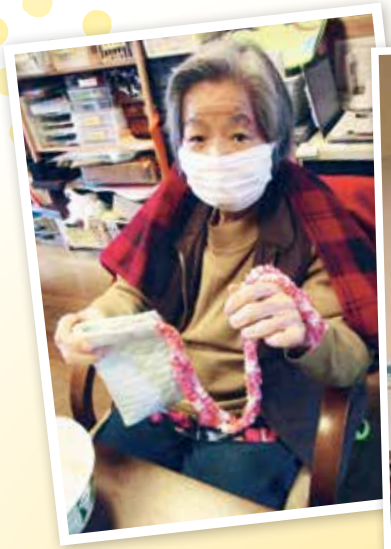
ななの 73号

七野会（ななのかい）　基本理念

1. 私たちは住み慣れた地域で尊厳をもって「その人らしく」暮らし続けることを支援します。
2. 私たちは全ての人の人権を尊重し、誰もが権利として福祉を享受できる社会をめざします。
3. 私たちは地域の皆さんの力によって設立され発展してきた歴史と伝統を大切にします。
4. 私たちは社会福祉法人であることを誇りとし、その使命と役割を果たします。
5. 私たちは働く職員の生活を守り、専門性を向上させるために努力します。

社会福祉法人 七野会（ななのかい）●広報誌
京都市北区大北山長谷町5-36　TEL.075-466-5095
ＵＲＬ●http://www.nananokai.com/

題字・西村太一さん
〈小規模多機能施設「和泉の家」ご利用者〉



たゆまぬ日常を エールにかえて

ようやく春がやってきました。この73号をお届けする頃、新型コロナウイルスとの共生は一歩でも進んでいるでしょうか。

連日、想像をはるかに超える新規感染者数は、福祉現場にもその影響は色濃く、ご利用者の日常、私たちの援助の場においても過酷さが増していきました。ウイルスを持ち込まないよう十分に注意しても、どこの隙間からか入り込み、瞬く間に感染が広がる状況を目の当たりにしました。法人内の複数の事業所で感染拡大が見られ、みなさんにもご心配とご迷惑をおかけいたしました。

それでもなお、ご利用者・ご入居者のみなさんの命と暮らし、そして権利としての福祉を守るため、当法人一丸となって邁進してまいりました。そのような中で、激励のお言葉を数多くいただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

今号ではいただいたエールの一部をご紹介させていただきます。また、過酷な感染拡大の最中にあっても変わらぬ営みを続けてきたご利用者・ご入居者、職員の姿を少しですが掲載させていただいております。このエールや日常風景が、みなさんと私たちを勇気づけてくれることを願って今号をお届けいたします。

なお、今号は、紙面を縮小して発行させていただいておりますことをご了承ください。

今こそエールを！

職員の皆様、大変な毎日、緊張した毎日が続きますが、本当にありがとうございます。
職員の皆様の実践は社会を支えている大きな力です。また、このような社会のありようから見えてくる気づきがあります。日々の実践に確信を持ち前向きに頑張ってください。

社会福祉法人七野会　評議員
きょうされん京都支部長　**西村 清忠 様**

前廣末理事長の指針「その人らしく」に魅了される。二十年後、機関誌の論文でした。読むと涙でかすみ、井上理事長にも同時に感動を伝える。あの「方針」が引き継がれていることでした。そして今、コロナ禍の真っ只中、七野会でしかできない利用者・家族に寄り添い、学習・実践の繰り返し、「その人らしく」を貫く七野会魂。八十歳になる私も共に頑張りたい。

姉小路住人　**石黒 徹 様**

職員さんの優しい活動を眺めて、素敵な世界があることを確認しています。七野会の素晴らしさ!!　日本の宝ですね。私の母も原谷こぶしの里第1号で、あたたかい介護を受けた日々をいつも思い出しては、その感謝の気持ち胸に抱いて今を生きています。

特別養護老人ホーム原谷こぶしの里
元入居者ご家族　**松井 敏子 様**

七野会のみなさんの日常

日常を続けようとする姿からみなさんにエールを、また七野会にゆかりの深い方からもエールを寄せていただきました。

朝のミーティング風景

密にならないよう短時間で重要事項を確認。

厨房では

厨房の委託業者さん、お昼の配膳のようすです。

デイサービスでは

レクリエーションで棒体操。テレビの画面に映っているのはデイサービスの職員です。棒体操の動きを収録し、映像を流しています。

レクリエーションでの作品

レクリエーションで作品作りが盛んにおこなわれています。その一部、地元の特産品を使った干支の置物です。次号以降に素敵な作品をご紹介予定です。

リハビリのようす

リハビリテーションでは、換気や消毒など感染対策をしながら必要な方に必要な質と量を実施できるよう奮闘しています。

投稿大募集

ご家族の生の声を聞かせていただくコーナーです。どんどんご意見をおよせください。

家族のひろば

今回はグループホームはつねを十年ほどご利用されていた山口小うのさんの二人の息子さん（長男の登美和さん、次男の昌弘さん）にお話を伺いました。

（聞き手　塩島）

山口小うのさん

どのようなお母さまでしたか？

優しい母親で、怒られた記憶はあまりありません。細かいことは言わない、穏やかでのんびりした性格。家では、レースのミシン刺繍の内職をしている姿をよく見ていました。

逆に父親は厳しく、毎日「勉強しろ」と言われていました。

在宅で介護されていた時のようす

（はつねご入所まで、次男の昌弘さんと二人暮らし。当時はほぼ毎日デイサービスに通われていました）

外に出ることが好きだったので、デイサービスに行くこと自体は苦にはならなかったようです。その頃、気になる言動が見え始め、通院が始まりました。ただ、病院の帰りに二人で一緒にうどん屋のとんかつ弁当を食べるのが習慣となっていて楽しかったです。認知症が進んで、魚を焼いては焦がしたり、通帳・財布を盗られたと言ったり…。いろいろありましたが、家に帰れず、警察から「保護しました」と連絡が入ると、迎えがいるため、仕事に行けないのが一番困りました。

写真左が昌弘さん、
右が登美和さん

はつね入所後の思い出など

はつねに入所してからは、安心して仕事に行けるようになりました。入所して二～三年くらいは面会に行っても「一緒に帰る」と言っていました。母親はじっとしているのが嫌な性格で、昔は民謡を習ったり、カラオケに行ったり、また近くの旅行会に入会し、毎年旅行に行ったりしていました。はつねでは、買い物、洗濯物たたみ、歌、それに一泊旅行と、本当にいろいろと楽しんでいたと思います。

面会時には、母親のようすを聞かせてもらいましたが、職員さんと話すのは、私が楽しいと思うほどでしたので、母親もはつねで楽しんでいたんだと思います。家で介護していたので分かりますが、職員さんは大変だと思います。

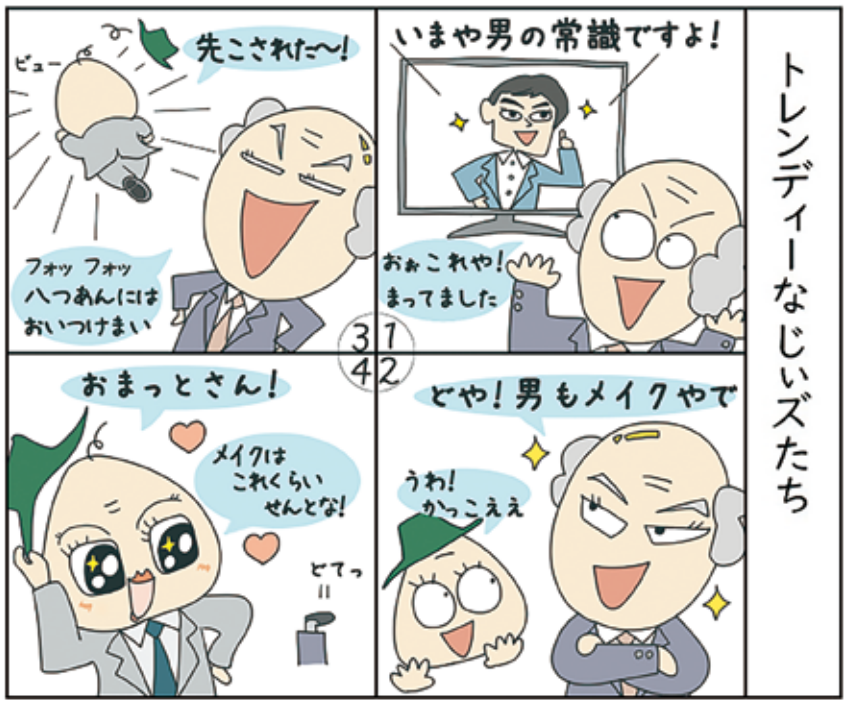
介護保険サービスを利用して感じたこと

かゆいところに手が届くような制度になってほしいです。家で介護している時に、デイサービスの送り出しにヘルパーを頼んだことがありますが、家族が希望することとうまくマッチングできず困ったことがありました。それぞれの事情に合わせて、もう少し踏み込んだ対応をしてくれるなど充実してほしいと思います。

最後に

グループホームはつねにはお世話になりました。自分の運動がてら面会に行っていましたが、母親に加え、私自身も楽しませていただきました。

在宅での介護は、ひとりでは無理です。一対一では介護している人間が行き詰まってしまいますし、家での介護は本当に大変でした。過ぎてしまえば笑い話ですが…。はつねに入所させてもらったから、本人も私も落ち着きましたし、ゆっくり過ごすことができました。



こぶへえさん byヒロ

こぶへえさんのバックナンバーがネットで読めます。
「京都の聞き書き絵本」

http://www.kikigakiehon.com/

催しのごあんない 情報BOX

こんなことしました

プロジェクションマッピング

この冬、特別養護老人ホーム原谷こぶしの里の玄関の壁にプロジェクションマッピングが登場しました。

施設の窓から映像を投影していたようですが、このプロジェクションマッピングに気づいていた職員は少なかったようです。

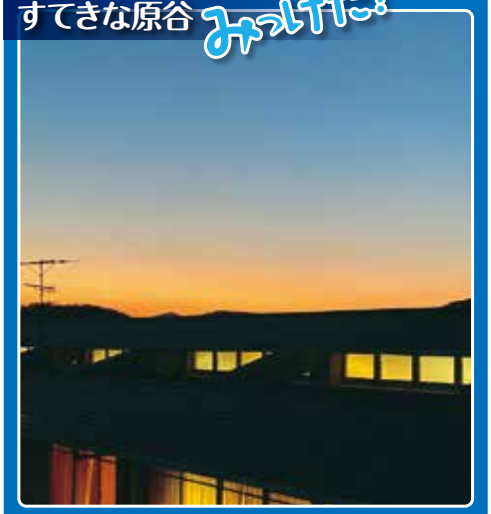
※プロジェクションマッピングとは映写機を使って、空間や物体に映像を投影する技術です。

ごあんない

お花見中止のお知らせ

例年4月初旬に開催しておりました「事業報告会・お花見会」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今年も中止とさせていただきます。3年連続での中止となり大変申し訳ありません。一日も早く事態が終息に向かい、諸行事が再開できることを願ってやみません。

すてきな原谷 みっけた!



施設内の窓から見えた夕焼け。
幻想的で素敵でした。

編集後記

この号が発行されている頃は、桜のピンク色が日本をやさしく包み込んでくれていることと思います。

この間はオミクロンの猛威と向き合う日々でしたね。

先の見えないトンネルに少しでも希望の光を灯そうと、市民のみんながこのウイルスに抗ってきました。そろそろウイルスさんにもご退散願いたいところです。

さて、私は桜が大好きです。天寿を全うするまで、あと何十回か目に焼き付けたいと思います。

彼の地では、花を愛でる状況にない方たちがたくさんおられます。大好きな桜に触れられるしあわせを、特別なことなんだと胸に刻み重い命の尊さに祈りを捧げたいと思います。

児

京都府研修指定　＜8介第91号＞＜9介第58号＞

七野会実務者研修受講生募集中！

京都府実務者研修受講資金貸付制度が利用できます

2022年度　＜自宅学習 + スクーリング8日間＞

5月コース：2022年5月1日～10月31日（スクーリング会場：サテライト今宮）
7月コース：2022年7月1日～12月31日（スクーリング会場：原谷こぶしの里）

募集人数：各コース20名（資格や実務経験は問いません）

☆いずれのコースも、実務経験の規定を満たす場合は、2023年1月の国家試験受験が可能です
☆スクーリング日程、費用につきましては直接お問い合わせください
☆本研修は介護実務経験がなくても受講することができます（国家試験受験には3年の実務経験が必要です）
☆経験豊かな講師がわかりやすく、丁寧に指導いたします
☆国家試験受験のためのフォローアップ講座も実施します
☆感染対策をしっかり行います

お申込み、お問い合わせはこちらまで！
『その人らしく暮らし続けることを大切に…』
社会福祉法人　七野会
〒603-8488　京都市北区大北山長谷町5-36
TEL. 075-466-5095　FAX. 075-467-8477
mail: jitumusha@nananokai.com
実務者研修担当：さいとう

事業所一覧

●特別養護老人ホーム・原谷こぶしの里	463-4888	●生活支援総合センター　姉小路（あねこうじ）	257-3867
●居宅介護支援事業所	463-1675	●在宅ケアセンター　新大宮	492-3979
●老人短期入所施設	463-4569	●生活支援総合センター　美山こぶしの里	0771-76-9027
●デイサービスセンター	463-7664	●こぶしの里サテライト今宮	494-2870
●ケアハウス・リブル北山	463-4100	●生活支援センター　金閣こぶしの里	466-2273
●グループホーム・はつね	494-3022	●生活支援総合センター　聚楽（じゅらく）	415-7575
●はつねデイサービスセンター	494-3033	●京都市原谷地域包括支援センター	463-1686
●堀川こぶしの里デイサービスセンター	417-4410	●デイサービスセンター　北山杉いこいの家	406-4555
●介護老人保健施設・ライブリィきぬかけ	466-5066		